



昭和二十八、七、一、二、八、三、三、一

第十六師団牙野戦病院業務詳報

16D  
2FL

防衛研究所戦史室



昭和十六年七月一日

自昭和十六年七月一日  
至昭和十八年十二月三十一日

大<sup>7</sup>力<sup>7</sup>  
野戰病院

本期間ニ於ケル日別收容轉歸表附表第三ノ如シ  
六治療ノ概況

外科

前開設間ト同一位置ニ於テ治療ヲ續行セルモ益々設備ノ充實ニ努メ治療方針ニ基キ適切ナル處置ト現地ニ於ケル治療ノ恢復ヲ期セリ。如ク治療ノ充實ヲ期セリ。尚衛生材料節約ノ爲ニ繙帶材料ノ再製ニ努メアリ

本開設間外科的疾患ニ依ル收容患者一四九名ニシテ戰傷三三石

戰病一一六名 花柳病八名ナリ

戰傷ノ大部ハ銃創ニシテ肺臟損傷 三名 機能障礙ヲ生シタルモノ

三名ナリ

戰病ノ主ナルモノハ皮膚病 三三名、ヘルニア 五名、蟲様突起火

六名、中耳炎六名、骨折九名、挫傷一一名、急性汎發性腹膜炎

四名、其他挫創火傷ナリ

「丸ニア」虫様突起炎ハ根絶手術ヲ施行セリ

骨折ニアリテハ整復術ヲ行ハシメ固定器ヲ行ヘリ

肝臓損傷ハ開腹手術ヲ行ヘリ

花柳病ハ淋疾五名 硬性下疳二名 第四性病一名ニシテ之カ原因

ヲ探究シ慰安婦ノ検査ニ於テモ検査鏡検査等ヲ併セ行ヒ感染源ノ

排除ニ努メタリ

淋疾ニハ「アクリフエリン」静注「ネオプロントゲル」筋注「スルファミン」劑ノ術

撃療法ヲ行ヒ「ロー」ニ%「プロウトルゴール」液ノ漸進的尿道洗滌

ヲ施セリ

第四性病ニハ「スケブナール」「サルバルザン」ノ静注ヲ行ヒ「カルタミン」劑ノ

療法ヲ行ヒ卓効ヲ奏セリ

挫傷ニハ「イヒケオール」酒精塗布後「硼酸水濕布」ヲ貴施ス

本開設間ニ於ケル手術名簿意附表第四ノ如シ

外來患者ハ一日平均五名ニシテ歩兵第九聯隊第十三飛行場中隊